



# Microsoft SPO与Webベース開発の機能比較

時：202XXX



# 目録 CONTENTS

01 機能範囲

02 アジャイル対応

03 カスタマイズ性

04 コラボレーション

05 セキュリティ

06 コスト

07 インテグレーション

08 レポート分析

09 デプロイ形態

10 機能比較

01

# 機能範囲

# Microsoft SPO

## SharePoint Framework (SPFx) の特徴

SharePoint Framework (SPFx) はクライアントサイド拡張を可能にし、React/AngularベースのモダンWebパーツ開発を実現する。  
例として、在庫管理ダッシュボードのカスタム実装が可能で、柔軟なビジネスニーズに対応できる。

## ドキュメントバージョン管理の強み

ドキュメントバージョン管理機能が充実しており、最大50,000件のバージョンを管理できる。  
これにより、ドキュメントの変更履歴を詳細に追跡し、過去のバージョンへの復元も容易に行える。

## Azure DevOps連携の可能性

Azure DevOpsとの連携が可能で、CI/CDパイプラインの統合を支援する。  
ただし、連携には一定程度の設定が必要で、専門知識を必要とする場合がある。



# 『Webベース開発

01

## Jiraの機能範囲



Jiraは要件管理からCI/CDパイプライン統合までを網羅し、開発プロセス全体を効率化する。例として、優先度「高」の課題をスプリントに自動追加する条件ベースの自動化ルールを設定できる。

02

## GitLabの統合機能



GitLabはコードレビューとテスト自動化を統合し、DevOpsの効率を大幅に向上させる。  
.gitlab-ci.ymlファイルでパイプラインを定義し、コンテナビルドからE2Eテスト、AWSデプロイまで自動化できる。

03

## 技術的根拠の強み



技術的根拠が明確で、最新の開発トレンドに迅速に対応できる。  
例として、GitHub ActionsやDatadog/Sentryなどのツールとの連携が容易で、高度な開発環境を構築できる。



The background is a dark blue gradient. It features a faint, semi-transparent image of a hand operating a calculator. The hand is positioned on the right side, with fingers pressing keys. The calculator is a standard desktop model with a numeric keypad and function keys. In the top-left corner, there is a partial view of a light blue circular shape. In the bottom-right corner, there is a larger, stylized light blue circular graphic with a smaller circle inside it.

02

アジャイル対応

# Microsoft SPO

## Power Automateの活用

Power Automateを活用してカスタムワークフローを構築し、ビジネスプロセスを自動化する。例として、タスクのステータス変更に応じて自動的に通知を送信するワークフローを設定できる。



## アジャイル開発の柔軟性

アジャイル開発に柔軟に対応できるが、完全な自動化には一定程度のカスタマイズが必要な場合がある。

## Azure Boardsの連携

Azure Boardsと連携してスクラムを実装し、アジャイル開発を支援する。例として、スプリントバックログを自動生成し、チームの開発進捗を効果的に管理できる。

# 『Webベース開発

01

## Jiraのアジャイル機能

Jiraはスプリントバックログを自動生成し、アジャイル開発を効率化する。

例として、IssueとPull Requestを自動リンクし、開発プロセスを一貫性のあるものにする。

02

## GitHub Projectsの統合

GitHub Projectsを活用してIssueとPull Requestを自動リンクし、アジャイル開発を支援する。

例として、開発チームがIssueの進捗をリアルタイムで把握し、効果的なコミュニケーションを促進できる。

03

## アジャイル開発の効率化

アジャイル開発を効率化するための機能が充実しており、開発チームの生産性を大幅に向上させる。



The background is a dark blue gradient. It features a faint, high-angle photograph of a hand operating a calculator. The hand is positioned on the right side, with fingers pressing keys. The calculator is light-colored, possibly white or light grey, and its keypad is visible. In the top-left corner, there is a partial view of a blue circular shape. In the bottom-right corner, there is a larger blue circular shape with a smaller, solid blue circle inside it.

03

カスタマイズ性

# Microsoft SPO



## SPFxによるカスタマイズ

SPFxを活用してReactベースのWebパーツを開発し、SharePointサイトをカスタマイズする。例として、独自のダッシュボードやアプリをサイトに組み込むことで、ビジネスニーズに合った環境を構築できる。



## Design Managerの制限

Design Managerを使用してマスターページやページレイアウトをHTML/CSSで直接編集できる。  
ただし、デザインテーマのカスタマイズはDesign Managerに限定され、柔軟性に制限がある場合がある。



## カスタマイズの柔軟性

カスタマイズ性は高いが、一部の機能に制限があるため、完全な自由度を得るには工夫が必要な場合がある。

# 『Webベース開発

## Jiraのノーコードカスタマイズ



Jiraはノーコードでカスタムフィールドやワークフローを作成し、柔軟なカスタマイズを実現する。  
例として、プロジェクトのニーズに応じて独自のフィールドやワークフローを簡単に追加できる。

## Redmineの拡張性



Redmineは4000以上のプラグインを提供し、機能を大幅に拡張できる。  
例として、プロジェクト管理やバグトラッキングなど、多様なニーズに対応するプラグインが利用できる。

## カスタマイズの柔軟性



カスタマイズ性が非常に高く、開発チームのニーズに柔軟に対応できる。

The background is a dark blue gradient. It features a faint, high-angle photograph of a hand operating a calculator. The hand is positioned on the right side, with fingers pressing keys. The calculator is light-colored, possibly white or light grey, and its keypad is visible. In the top-left corner, there is a partial view of a blue circular shape. In the bottom-right corner, there is a larger blue circular shape with a smaller, solid blue circle inside it.

04

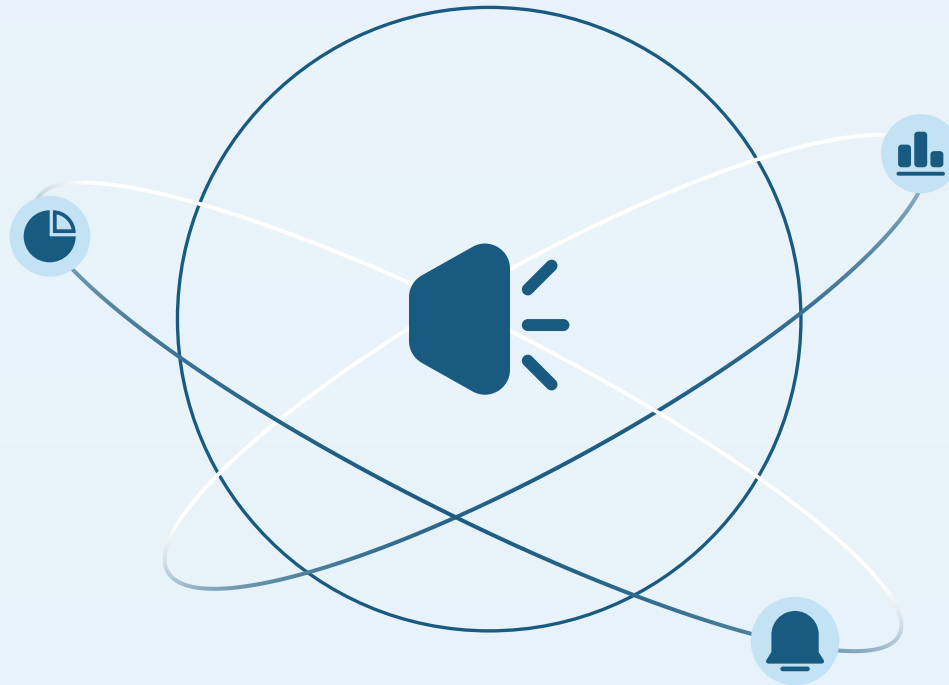
コラボレーション

# Microsoft SPO

## Teams会議とファイルの連携

Teams会議とSharePointファイルを同時編集できるため、コラボレーションを効率化する。

例として、会議中にリアルタイムでファイルを編集し、チームのコミュニケーションをスムーズに促進できる。



## コラボレーションの強み

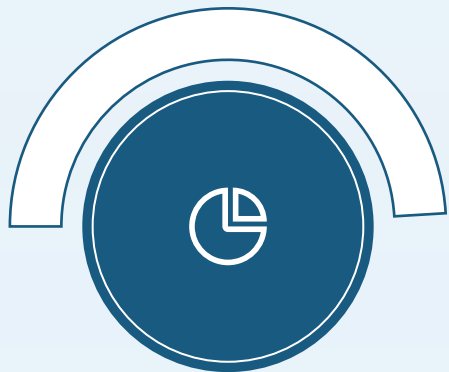
マイクロソフト製品との連携が強いため、既存の環境でシームレスなコラボレーションを実現できる。

## タスク内コメント機能の制限

タスク内コメント機能は未統合で、別途設定やカスタマイズが必要な場合がある。例として、タスク管理とコミュニケーションを一元化するには、追加の設定やツールの組み合わせが必要な場合がある。



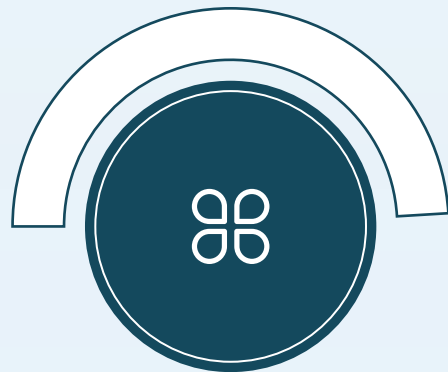
# Webベース開発



## GitLab MRでのコード差分討論

GitLabのMerge Request（MR）でコード差分を討論し、効果的なコードレビューを実施する。

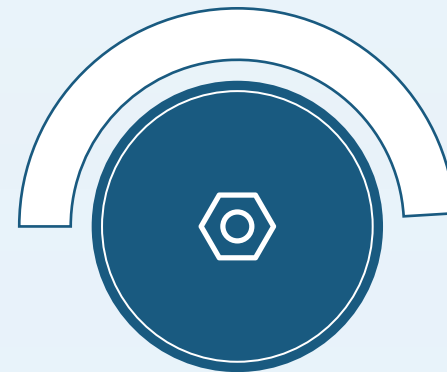
例として、コードの変更箇所を詳細に確認し、チームでレビューを進めることが可能。



## Slack通知連携の強み

Slack通知連携を活用して、リアルタイムのコミュニケーションを促進する。

例として、コードのプッシュやMRの更新をSlackで通知することで、チームの連携を強化できる。



## コラボレーションの柔軟性

コラボレーション機能が柔軟で、多様なツールとの連携が可能。

05

セキュリティ

# Microsoft SPO

## 1 ファイルレベルDLPの強み

ファイルレベルのDLP（データロス防止）機能を提供し、機密データを自動的にブロックする。  
例として、機密情報を含むファイルが誤って共有されないよう、自動的にブロックや警告を発する。

## 2 多要素認証の実装

Azure AD Conditional Accessを活用して多要素認証を実装し、高度なセキュリティを提供する。  
例として、ユーザーのログイン時に複数の認証手段を要求することで、不正アクセスを防止する。

## 3 セキュリティの統合性

マイクロソフトのセキュリティソリューションと統合し、包括的なセキュリティ対策を実現する。



# Webベース開発



## ロールベースアクセス制御の実装

ロールベースアクセス制御（RBAC）を提供し、ユーザーのアクセス権限を細かく管理する。



## SAML連携の設定

SAML連携を設定することで、シングルサインオン（SSO）を実現し、セキュリティと利便性を両立する。



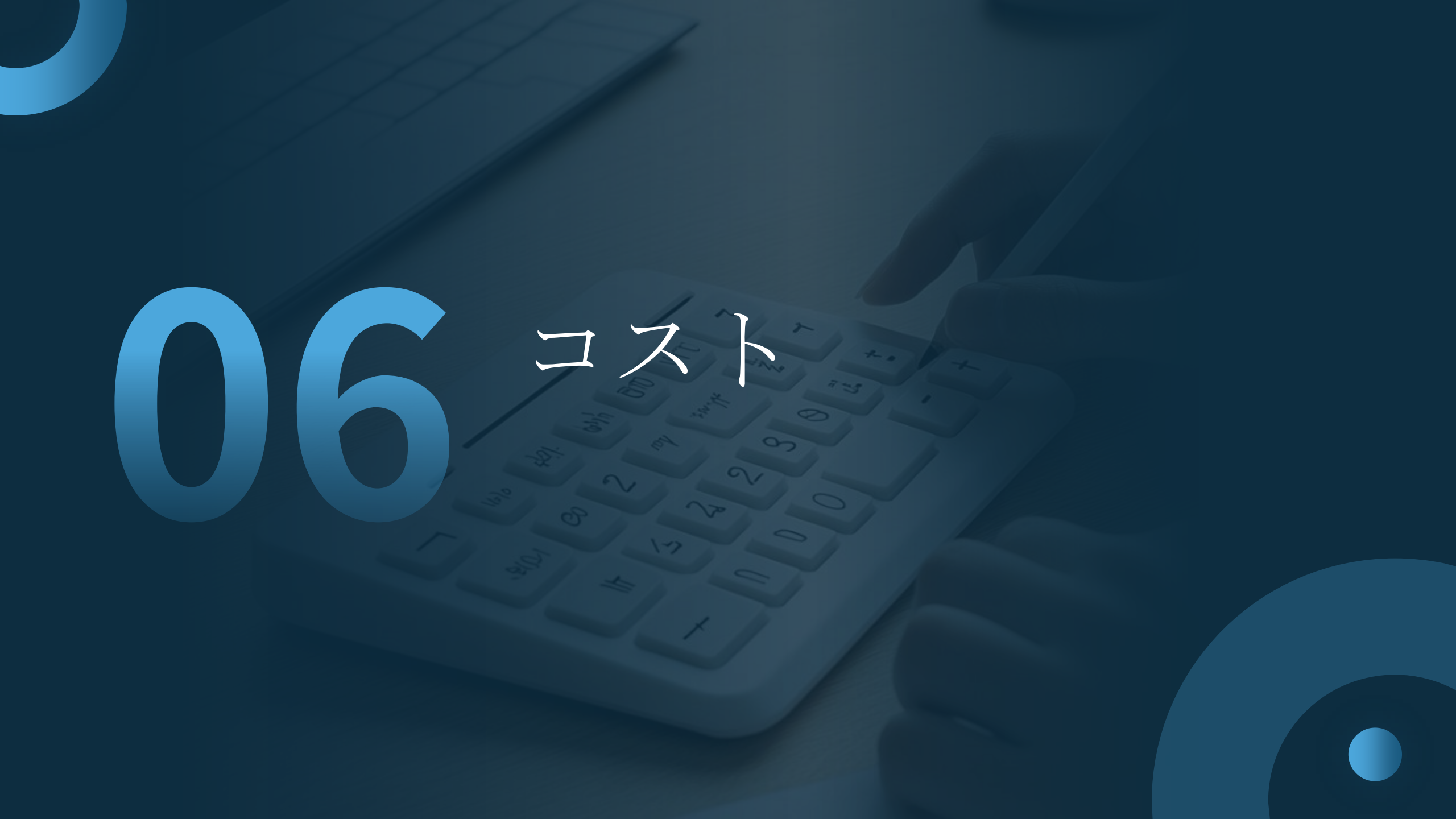
## セキュリティの柔軟性

セキュリティ機能が柔軟で、多様なニーズに対応できるが、設定が必要な場合がある。





# 06 コスト





# Microsoft SPO

## Microsoft 365 E3プランのコスト

Microsoft 365 E3プランに含まれており、1ユーザーあたり月額\$20〜のコストがかかる。

例として、100GB超のストレージは別途課金され、大規模なファイル管理には追加コストがかかる場合がある。

## クラウド専用のコストメリット

クラウド専用のため、オンプレミス環境の維持管理コストを削減できる。

例として、自動的なソフトウェア更新やバックアップなど、運用コストを低減する。

## コストの包括性

サービス全体のコストが包括的で、追加機能やサポートも含めて予算を立てやすい。



# 『Webベース開発

## Jira Cloudのコスト

Jira Cloudは10ユーザー以下で\$7.5/ユーザーのコストがかかる。  
例として、小規模なチーム向けの低コストなプランを提供し、予算に応じた選択が可能。



## オープンソース版の選択肢

オープンソース版（例：Redmine）が提供され、コストを大幅に削減できる。  
例として、自社でカスタマイズや運用管理を担当することで、無償で利用できる。



## コストの柔軟性

コストが柔軟で、ニーズに応じて選択できるが、サポートや機能拡張には追加コストがかかる場合がある。



07

インテグレーション

# Microsoft SPO



## Power BI埋め込みダッシュボード

Power BIを埋め込み、ダッシュボードをSharePointサイトに直接表示する。  
例として、ビジネスデータをリアルタイムで可視化し、チームの意思決定を支援する。

## Jenkins連携のカスタマイズ

Jenkins連携にはカスタムスクリプトが必要で、高度なカスタマイズが可能。  
例として、独自のCI/CDパイプラインを構築し、開発プロセスを効率化する。

## インテグレーションの強み

マイクロソフト製品との統合が強いため、既存の環境でシームレスなインテグレーションを実現できる。

# 『Webベース開発

## GitHub ActionsでのCI/CD自動化

GitHub Actionsを活用してCI/CDパイプラインを自動化し、効率的な開発を実現する。

例として、プルリクエストをトリガーに自動テストやデプロイを実行する。

## Datadog/Sentry連携の強み

DatadogやSentryとの連携を容易にし、アプリケーションのモニタリングとエラー管理を強化する。

例として、リアルタイムでアプリケーションのパフォーマンスを監視し、エラーを迅速に検知する。

## インテグレーションの柔軟性

インテグレーション機能が柔軟で、多様なツールとの連携が可能。





08

レポート分析

# Microsoft SPO



## Power BIでのカスタムメトリクス

Power BIを活用してカスタムメトリクスを作成し、ビジネスデータを詳細に分析する。

## アクセスログ分析の範囲

アクセスログを分析し、90日間のデータを保持する。。

## レポート分析の強み

マイクロソフト製品との統合が強いため、包括的なレポート分析を実現できる。

# 『Webベース開発ツール



## Jiraのベロシティトレンド

Jiraはベロシティトレンドを自動可視化し、アジャイル開発の進捗を効果的に管理する。



## SonarQube連携の強み

SonarQubeと連携してコード品質レポートを生成し、開発品質を向上する。



## レポート分析の柔軟性

レポート分析機能が柔軟で、多様なニーズに対応できるが、設定が必要な場合がある。

09

デプロイ形態

# Microsoft SPO



## クラウド専用の利点



クラウド専用のため、オンプレミス環境の維持管理コストを削減できる。  
例として、自動的なソフトウェア更新やバックアップなど、運用コストを低減する。

## グローバルCDNの自動適用



グローバルCDNを自動適用し、サイトのパフォーマンスを向上する。  
例として、世界中のユーザーが高速でサイトにアクセスできるようにする。

## デプロイ形態の強み



クラウド専用のため、シームレスなグローバル展開が可能で、運用管理が容易。



# Webベース開発

## ハイブリッドクラウドの対応

ハイブリッドクラウドに対応し、オンプレミスとクラウドの両方の環境を活用できる。

01

オンプレミス版（例：GitLab Omnibus）を提供し、企業のセキュリティ要件に対応する。

## オンプレミス版の提供

02

デプロイ形態が柔軟で、ニーズに応じて選択できるが、設定や運用管理が必要な場合がある。

## デプロイ形態の柔軟性

03



10

機能比較

# 機能比較

項目	Microsoft SPO	Webベース開発
機能範囲	△ SharePoint Framework (SPFx) によるクライアントサイド拡張 ○ ドキュメントバージョン管理 (最大50,000件) △ Azure DevOps連携	◎ Jira : 要件管理→CI/CDパイプライン統合 ◎ GitLab : コードレビュー+テスト自動化統合
アジャイル対応	△ Power Automateでカスタムワークフロー構築可能 △ Azure Boards連携でスクラム実装可能	◎ Jira : スプリントバックログ自動生成 ◎ GitHub Projects : Issue→PR自動リンク
カスタマイズ性	○ SPFxでReactベースのWebパーツ開発 △ デザインテーマはDesign Manager限定	◎ Jira : ノーコードでカスタムフィールド/ワークフロー作成 ◎ Redmine : プラグイン (4000+) で機能拡張
コラボレーション	◎ Teams会議とSharePointファイルの同時編集 △ タスク内コメント機能未統合	◎ GitLab MR (Merge Request) でのコード差分討論 ◎ Slack通知連携
セキュリティ	◎ ファイルレベルDLP (機密データ自動ブロック) ◎ 多要素認証 (Azure AD Conditional Access)	○ ロールベースアクセス制御 (RBAC) △ SAML連携要設定
コスト	◎ Microsoft 365 E3プラン包含 (1ユーザー月額\$20~) △ 100GB超ストレージは別課金	△ Jira Cloud (10ユーザー以下 \$7.5/ユーザー) ○ オープンソース版あり (例: Redmine)
インテグレーション	◎ Power BI埋め込みダッシュボード △ Jenkins連携要カスタムスクリプト	◎ GitHub ActionsでCI/CD自動化 ◎ Datadog/Sentry連携
レポート分析	△ Power BIでカスタムメトリクス作成要 ○ アクセスログ分析 (90日保持)	◎ Jira : ベロシティトレンド自動可視化 ◎ SonarQube連携でコード品質レポート
デプロイ形態	△ クラウド専用 (オンプレ不可) ○ グローバルCDN自動適用	◎ オンプレミス版提供 (例: GitLab Omnibus) ◎ ハイブリッドクラウド対応